

Palja

ぱるじゃ



2026. 3 No. **204**

特集

令和7年度

JA八戸野菜生産販売検討会

(根菜・振興野菜)



桃専門部剪定講習会



QOL検診

Contents

- 畜産総合部会通常総会
- 花き部会生販検討会・通常総会
- 青壮年部通常総会
- 三戸酒米支部通常総会・講習会
- 野菜総合部会八戸支部3専門部合同販売報告会 etc.



QOL健診で生活習慣の見直しを

JAは2月25日、八戸総合卸センター会館コネクトホールでQOL健診を行い、73人が受診しました。

J A共済は地域貢献活動の一環として「青森県医師協会附属 健やか力推進センター」協力のもと、QOL健診を実施しました。QOL健診は、短命県返上を掲げ弘前大学で開発された「生活の質(クオリティ・オブ・ライフ)を向上させる新しい健診・健康プログラム」で、今年で2回目の開催となります。

内臓脂肪や体組成、推定野菜摂取量(ベジチェック)などの測定を行い、その日のうちに健診結果と健康教育を受けられるのが特徴。さらに、弘前大学の田中直先生が健康教養講座を行い



▲ 2ステップテストを行う参加者

栄養士が、今回の受診内容から何がわかるのか、健診結果の見方、健康のためにおすすめの食べ物などを紹介しました。受診者は「2ステップテストが難しかった。健診結果をもとに、日常生活を見直したいと思った」と話しました。

田中先生は「運動不足や多量飲酒による生活習慣の乱れによって、加齢とともに高血圧や糖尿病など引き起こします。最終的には、がんや心臓病で命を落とすこともあります」と参加者へ呼びかけました。また、管理



▲ 立ち上がりの高さを確認する参加者

3月号 ぱるじゃもくじ

QOL健診で生活習慣の見直しを	2
畜産総合部会通常総会	3
花き部会生販検討会・通常総会	3
特集	4
令和7年度	
J A八戸野菜生産販売検討会(根菜・振興野菜)	6
青壮年部通常総会	6
三戸酒米支部通常総会・講習会	6
野菜総合部会八戸支部3専門部合同販売報告会	7
認知症サポーター養成講座	7
トピックス	8
決算棚卸に伴うグリーンセンター	9
資材センター休業について	9
グリーンセンター営業時間のお知らせ	9
営農情報 栽培インフォメーション	10
J Aカレンダー	12
「家の光」4月号のご紹介	12
活動レポート	13
J A八戸青壮年部 部員募集	13
J A八戸女性部 部員募集	13
理事会だより	13
J Aのすがた	13
東北農政局青森県拠点からのお知らせ	14
クロスワード	14
皆様のお声	15
情報掲示板	15
組合員資格について確認をお願いいたします	16
営農座談会 各地区で開催	16

畜産総合部会通常総会

畜産総合部会は2月18日、八戸パークホテルで畜産総合部会通常総会を開催し、部会員・関係機関・JA役職員など65人が参加しました。

総会に先立ち、優良農家発表が行われ、酪農・肥育・繁殖の専門部ごとに販売単価の上位3人を表彰しました。

総会では、栖山年男部会長は「異常気象、獣害、配合飼料の高止まりなど問題は山積みです。また、枝肉価格は依然として低いままで。そのような中、部会では、共進会、講習会や農家支援として鉱塩の配布を行いました。今後も部会活動への皆さんのご協力をお願いします」とあいさつ。

議長は繁殖専門部八戸支部の百目木憲一さんが務めました。令和7年度事業報告や令和8年度事業計画など3議案を協議しました。「部会員の減少とあるが、昨年よ



▲ あいさつをする栖山部会長



▲ 質問をする部会員

り何名減ったのか」など質問があげられました。いずれも満場一致で承認されました。次年度の活動計画として、枝肉共励会の開催および参加、消費者との交流活動などを計画しています。

優良農家については以下のとおり。

◆酪農部門

最優秀賞 木村 勝彦

優秀賞 奥沢 一英

優良賞 高根 晃

◆肥育部門

最優秀賞 合同会社ひなた

優秀賞 山本悦久

優良賞 小原暢人

◆繁殖部門

最優秀賞 有限会社沢田ファーム

優秀賞 谷川真一

優良賞 古里弥一

花き部会生販検討会・通常総会

花き部会は2月25日、アピル五戸で花き生販検討会および花き部会通常総会を開催し、部会員や関係機関・取引市場・JA役職員など38人が参加しました。

生販検討会では、取引市場2社が令和7年度の市場情勢報告を行ったほか、三戸営農センターの戸田沢拓哉係長が令和7年度花き販売実績および令和8年度花き販売計画を説明しました。花きの試験結果については、八戸市農業経営振興センターの西澤団技師が報告しました。

総会では、館野隆行部会長が「異常気象が常態化しているなか、花べんの色抜けや奇形なども少なく、前年を上回る販売本数を確保できたのは、部会員の卓越した栽培技術の賜物です。さらなる産地の維持、拡大に努めてまいります



▲ あいさつをする館野部会長



▲ 販売実績を説明する戸田沢係長

ので、ますますのご協力をお願いします」とあいさつしました。

議長はまべち支部の工藤安三さんが務め、令和7年度活動報告や令和8年度活動計画など3つの議案を審議し、全ての議案が満場一致で承認されました。

令和7年度の取扱実績は、令和7年度の販売数量165万1,914本、販売金額1億6,858万円の実績となりました。

令和7年度JA八戸野菜生産販売検討会（根菜・振興野菜）

野菜総合部会は2月3日、令和7年度JA八戸野菜生産販売検討会を八戸プラザホテルアーバンホールで開催し、生産者・市場関係者など125人が参加しました。

野菜総合部会の堰合繁部会長は「令和7年度産は、干ばつ、猛暑、集中豪雨の影響から、生育

が減退し収量が計画を下回った

なか、関係市場の努力により、

農協が計画する販売額まで近づ

けてくれました。生産資材、運

賃など高騰してきており、再生

産が困難になってきております。

関係機関が連携し、再生産価格

実現に向けてご協力をお願いします

ます」とあいさつしました。

また、若林政秀組合長は「運賃

や資材の高騰により、少しでも

手取りを多くするため、適正価

格での販売を職員が市場へ、常

日頃お願いしています。農業被

害も少なく、良いものが収穫で

き、市場の皆様においても、来年も頑張って生産していただける価格でお願いします」とあいさつしました。



▲ あいさつをする堰合部会長



▲ 説明に耳を傾ける部会員



▲ ガンパロー三唱を行う崩副部会長

検討会では、市場関係者が令和7年度の市場情勢を説明し、指導担当者として販売担当者が、ながいも、にんにく、ごぼう、ねぎ、振興野菜5品目の令和7年度産の生育経過と販売実績を報告したほか、令和8年度の生産および販売実績を説明しました。さらに、出荷規格を見直し、簡素化することで、生産者の手取り

アップにつなげていくことを述べました。

最後に、崩弘幸副部会長の掛け声のもと、ガンバロー三唱で生産者・市場関係機関・JAが気持ちを一つに、令和8年度の目標達成を誓いました。

専門部ごとの生産販売対策は次のとおりとなります。

ながいも



◆生産対策(令和8年度)

- ①優良種子事業の活用
- ②農家個々に合わせた最適な輪作体系の構築
- ③最新の栽培技術による省力・効率化かつ安定した栽培技術の普及
- ④天候に対応した適正栽培による品質低下の軽減

◆販売対策(令和7年度)

- ①出荷規格の簡素化

- ②継続安定出荷
- ③消費宣伝活動の強化
- ④集荷対策

にんにく



◆生産対策(令和8年度)

- ①生産量と品質の維持
- ②定期的な優良種子への更新
- ③種子増殖技術の普及
- ④発芽・発根の抑制

◆販売対策(令和7年度)

- ①継続安定出荷
- ②パッケージ販売の推進
- ③出荷規格の簡素化
- ④消費宣伝活動の強化
- ⑤集荷対策

◆生産対策

ごぼう



- ①高品質生産による反収1,600kg、A品率80%以上

- ②土壌改良剤の適正使用による品質改善
- ③巡回指導による新規採用品種、資材の普及推進

◆販売対策

- ①継続安定出荷の実施
- ②パッケージ販売の強化
- ③消費宣伝活動
- ④集荷対策

ねぎ



◆生産対策

- ①重労働の追肥作業軽減による作付面積の維持
- ②高温・土壌乾燥の影響が出にくい肥料の普及
- ③新規作付け者の獲得で面積および出荷量増大
- ④集中豪雨など気象変動に応じた情報提供
- ⑤ねぎ腐敗病、軟腐病の軽減による収穫量の確保

◆販売対策

- ①出荷規格の遵守と選果選別の徹底
- ②出荷規格の簡素化の検討
- ③取引市場への的確な産地情報の提供

振興野菜



◆生産対策

- ①土壌診断に基づいた適正施肥と土づくりの徹底を図る。
- ②栽培講習会を開催し、優良種子生産技術や栽培技術の向上を図る。

◆販売対策

- ①系統出荷の推進
- ②鮮度保持、出荷規格の遵守



青壮年部通常総会

青壮年部は2月17日、八戸パークホテルで青壮年部通常総会を開催し、部員や役員など47人が参加しました。

在家寛人部長は「食育活動、奉仕作業やJA八戸グループ感謝祭の屋台と各支部で行っている活動は好評をいただいています。今後も、このような活動を継続し、新たな活動を行うことで、部員増加と、さらなる団結をしていきたいと考えているため、ご参加と協力をお願いします」とあいさつしました。

さらに、若林政秀組合長は「皆さんの若い力には柔軟な発想、そして挑戦する行動力が



▲ あいさつをする在家部長



▲ JA青年組織綱領を読み上げる部員

あります。仲間と語り合い、支え合い、共に成長する場でもある。どうかつながりを大切にし、地域の活性化と地域農業の発展に大いに挑戦していただきたい」と述べました。

議長は八戸支部の下沢隆幸さんが務め、令和7年度収支決算、令和8年度事業方針など3つの議案が満場一致で承認されました。

本年度の事業方針として、管内小学校の食育活動、農畜産物の消費活動の実施など協議しました。

三戸酒米支部通常総会・講習会

三戸酒米支部は1月28日、三戸町の割烹白山で通常総会および講習会を行い、部会員、関係機関など26人が出席しました。

総会では、藤原文雄支部長が「令和8年度も三戸酒米支部として、努力して良質な酒米を生産していただき、総会の慎重審議をお願いしたい」とあいさつしました。令和7年度の活動や収支決算について報告。さらに、令和8年度活動計画や収支予算案など3つの議案について審議し、全ての議案が満場一致で承認されました。

講習会では、農業普及振興室の渡邊智雄副室長が講師を務め、令和7年の気象経過をもとに、酒米の生育推移や品質について説明しました。令和8年度の対策として、①育苗中の適正な温度・水管理、②中干しの適期実施、③出穂から登熟期の気温に応じた適期刈

取が必要であるとなりました。

懇親会では、若林政秀組合長が「部会員の皆さんが生産した酒米を使用した、地元酒蔵で作っている八仙は評判もよく、とても人気があります。令和8年度もぜひ、生産を続けていってほしい」とあいさつ。部会員は、次年度の生産に向け、英気を養った様子でした。



▲ あいさつをする藤原支部長

野菜総合部会八戸支部 3 専門部合同販売報告会

野菜総合部会八戸支部は2月16日、ニンニク、ピーマン、ミニトマトの3専門部が合同で販売報告会を行い、生産者や関係機関、市場関係者60人が参加しました。

にんにく専門部の庭田豊支部長は「令和7年産は市場の皆さまのご協力により、高値で販売をしていただきました。部会員の皆さんも、令和8年産に向け、だんだんと農作業が始まってきていると思います。体に気を付け作業し、出荷に努めてください」とあいさつしました。



▲ あいさつをする庭田支部長



▲ 栽培管理のポイントを学ぶ参加者

講習会では、ニンニクとピーマンは、農業普及振興室の職員2人を講師に招き、令和7年産の気象と生育状況をもとに、令和8年産の栽培管理のポイントを学びました。ミニトマトは、トキタ種苗株式会社の社員が講師を務め、高温対策の注意点などを説明し、新品種を紹介しました。

販売報告会では、市場より情勢報告があったほか、JA販売担当が令和7年産の販売実績と令和8年産の販売計画を説明しました。

認知症サポーター養成講座

JAは2月7日、豊崎会議室で認知症サポーター養成講座を開き、JA職員および（株）ぱるじゃサービスの社員18人が参加しました。

窓口サービスの向上、地域貢献活動への一助などに役立てるため、認知症について正しく理解し、認知症の方や家族を見守る認知症サポーターの育成を目的としており、今年で3回目の開催となります。

講師に、ひので訪問介護サービスとみやぎ居宅介護支援事業所の職員を招き、認知症の症状や行動を確認し、認知症



▲ 認知症について説明する講師



▲ 認知症の症状を実演にて確認する職員

講師は家の近所、職場や街中での「困っているのかな」「認知症かな」と思ったときには、本人の意思、自尊心を尊重する接し方を心がけることが大事であると説明しました。また、職員へ「地域住民と接する中で、何かおかしいなと感じたら、気軽に各市町の包括支援センターなど関係機関へ連絡をお願いします」と呼びかけました。

講師は家の近所、職場や街中での「困っているのかな」「認知症かな」と思ったときには、本人の意思、自尊心を尊重する接し方を心がけることが大事であると説明しました。また、職員へ「地域住民と接する中で、何かおかしいなと感じたら、気軽に各市町の包括支援センターなど関係機関へ連絡をお願いします」と呼びかけました。

ピーマン新規作付者講習会



▲ 講習に耳を傾ける参加者

ピーマン専門部は2月2日、南部支店でピーマン新規作付者講習会を行い、新規作付希望者28人が参加しました。

J Aでは、他の作物に比べ栽培管理や収穫、調整が軽作業であるため、高齢者や女性、農業が初めての方でも取り組みやすい作物として推奨しています。

横浜植木株式会社の社員が講師となり、定植から整枝方法などを説明しました。参加者は「株間は何センチが適切なのか」「追肥のタイミングや間隔は」など質問し、次年度の植付へ意欲を見せました。

八戸営農センターの田中彰主査は「4月から講習会を定期的で開催していきます。また、栽培管理や追肥など不安なことがあれば気軽に各営農センターの職員へ相談してほしい」と呼びかけました。

桃 剪定講習会



桃専門部は2月16日、南部町の生産者園地で剪定講習会を開き、18人が参加しました。元農業普及振興室の久保隆さんを講師に招き、冬季の剪定のポイントを学びました。

長沼智一専門部長は「皆さん独自の剪定方法があるかと思えます。講習会を参考に、次年度の生産に向け、参考になる部分は取り入れ、品質のよい桃の生産に努めてください」とあいさつしました。

講師は剪定のポイントとして、①日光が十分に園地にあたる、②防除薬剤がしっかり散布される、③作業がしやすいことを挙げました。「園地全体を観察し、どう剪定を進めるか方針を定めてほしい」と指導しました。



▲ 剪定のポイントを伝える講師

南部支店 年金友の会集い



▲ 集いを堪能した会員

南部支店は2月14日、バーデパークふくちで年金友の会集いを開き、会員43人が参加しました。

赤石順三会長は「皆さん、久しぶりに会う方も多と思います。交流を深め楽しんでいってください」とあいさつ。美味しい料理を堪能したほか、カラオケで自慢の歌声を披露し、さらに踊りもあり、最後にはじゃんけん大会で盛り上がりました。

参加した会員は「支店の職員や久しぶりに会う方も多く、楽しく会話もできよかった」と話しました。

決算棚卸に伴うグリーンセンター・資材センター休業について

令和8年3月31日(火)は、令和7年度決算棚卸に伴い、全グリーンセンター及び資材センターを**終日休業**とし、また、4月1日(水)は**現物監査対応のため午後**からの営業とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。



グリーンセンター営業時間のお知らせ

令和8年4月1日から9月30日の営業時間

このたびグリーンセンターでは働き方改革の推進及び職員の労働環境改善のため、営業時間を変更いたします。皆様にはご不便をおかけしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

変更前 8:00～ → 変更後 8:30～

グリーンセンター名	曜日	平日	土曜日	日曜日・祝日
中央グリーンセンター		8:30～17:00	8:30～12:00	8:30～12:00
是川グリーンセンター				休日
新郷グリーンセンター				8:30～12:00
南部グリーンセンター				8:30～12:00
三戸グリーンセンター				8:30～12:00
田子グリーンセンター				休日

※ゴールデンウィーク、10月以降の営業時間は各グリーンセンター店頭に掲示いたします。

生産資材の配達をご依頼される方へ

生産資材の配達につきましては、下記のとおり対応いたします。最寄りのグリーンセンターへご相談ください。

平日

正午までに依頼をいただいた場合………**当日午後**の配達となります。

午後4時までに依頼をいただいた場合………**翌日**の配達となります。(土曜日・日曜日・祝日除く)
(※**金曜日**の注文は**翌営業日(平日)**となります)

土曜日 日曜日・祝日

この日に依頼をいただいた場合………**翌営業日(平日)**の配達となります。

※在庫状況や天候状況によっては対応できない場合もありますので、余裕をもった配達依頼をお願いいたします。



野菜



1 ながいも

本年も3月から気温が高くなる予測が出ています。地温が上がると発根・萌芽やスポンジ症等による品質低下につながります。また、春掘りが遅れると今後の作業全体に影響が出るので、4月末までの掘り取り終了を目指しましょう。ながいも栽培において『種子』は収量・品質に直結する非常に重要な要素です。種子選抜や栽培管理に関する情報は講習会資料を確認しましょう。講習会に参加できなかった方は最寄りの営農センターでご確認ください。

2 にんにく

- ・ 消雪後に圃場を見回り、傷んだ株の抜き取りや春腐病の防除を行いましょ。昨年秋の植付け作業が遅れた圃場では芽出し作業を行い、生育の促進に努めてください。
- ・ 消雪期が早まり、気温の上昇に伴い病気の発生時期が早まる懸念があります。防除暦を参考に防除に努めてください。また、病害の初発を確認した際は治療効果の高い薬剤を使用してください。
- ・ 風による痛みや葉先枯れなどが見られる場合には、葉面散布剤を活用しましょう。
- ・ 欠株・腐敗が多い圃場を確認された際は、各営農センターまでご相談ください。

3 ねぎ …… 定植及びその後の管理 ……

☆定植前の数日間はハウスを開閉し苗を外気温に慣らしてから定植しましょう。

☆圃場の土壌水分に注意し耕起・定植を行いましょ。

- ・ 耕起は土壌が『コゴリ』にならない状態で行いましょ。⇒赤土は粘土質が強いため注意しましょ。
- ・ 定植は引っ張り君のタイヤや長靴に土がべっとり付く状態では土壌水分が有り過ぎます。その様な条件での定植は避けるようにしましょ。

⇒どちらもスムーズな活着による生育促進を図ることを重点に置いています。

☆(3月定植)被覆資材を設置後、降雪があった場合は無理に除雪は行わず、自然に溶かし完全に消雪するまで手直しは我慢しましょ。

⇒無理な除雪はねぎに傷口が付きそこから腐敗する原因となります。

☆定植後、土壌が固く締まった場合は、生育不良の原因となるため手間でも被覆資材除去後、早めに土壌を柔らかくし適度な土寄せを行い根圏確保に努め初期生育の確保に努めましょ。

4 ピーマン

…… 移植(鉢あげ)時の注意点について ……

- ・ 移植時期については本葉2.0~2.5枚(発芽25日後頃)に行いましょ。
- ・ 移植苗購入の場合、苗がきたらすぐポット上げしましょ。(老化苗にすると活着が悪くなります)
- ・ 日中は半日陰にして活着を促進しましょ。
- ・ 根鉢が巻きすぎる事を防ぐため、できるだけ10.5cm以上のポットを使用しましょ。

…… 移植後の注意点について ……

- ・ 移植後、20日間は気温を高めに管理しましょ。(目安25~30℃)地温は最低16℃を確保しましょ。
※育苗期の温度が低いと3本分枝が多くなると言われております。
- ・ かん水は移植後3~4日したら乾き具合を見て1株ずつ丁寧に行いましょ。
※地温の低下を防ぐため天気の良い午前中に行いましょ。

5 トマト・ミニトマト

- ・ 土壌診断を行い施肥量を決めましょ。リン酸過剰の場合、リン酸の施用は不要で、基肥は低PKタイプや単肥を使用しましょ。石灰窒素を基肥として用いる場合は、最低でも定植の2週間前には施用しましょ。
- ・ 定植準備…冬季間ハウスフィルムを徐覆しない場合は、土壌が乾燥しているので耕起前に散水し、手で軽く握って崩れない程度で耕起しましょ。マルチは最低でも10日前までに張り、深さ15cmの地温が15℃以上を確保しましょ。

6 きゅうり …… ハウスきゅうり ……

- ・ 定植は地温を十分に確保してから行いましょ。
- ・ 1日の平均気温18.3℃(積算温度約430℃)をどれだけ稼げるかが温度管理のポイントになりますので、夕方のトンネルを閉める時間を早めに行い、全閉時に20~25℃になるよう温度管理を行いましょ。
- ・ できるだけ最低温度を確保しつつ、根張りを充実させるために湿度の保持を心がけ、積極的に株元かん水を行い、定期的に極薄の液肥などを併用して生育促進を図りましょ。

7 ごぼう

できるだけ早めに春掘りを開始して作業が遅れることがないように計画的に取り組みましょ。

土壌消毒剤使用時はきちんと被覆し、適正に使用しましょ。

8 さやいんげん

- ・ 前年度異常が見られた圃場では土壌診断を行い、令和8年産の栽培に備えましょ。
- ・ 栽培計画をたて、余裕をもって播種の準備を行いましょ。

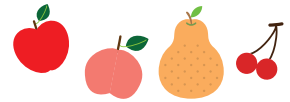
9 きぬさや・スナップ …… ハウス栽培 ……

- ・外気温以上にハウス内の温度は急激に変化しやすいので、水分管理を徹底しましょう。
- ・寒暖差には常に留意し、開けっ放しや閉めっ放しは止め、適度な換気をしましょう。
- ・高温続きには害虫発生に備え、予防を徹底しましょう。

10 丸いも

- ・次年度用の種子確保も考慮し作付け計画を立てましょう。
- ・令和9年に向け作付けを考えている方は種子の確保が必要のため、8月末までに一度各営農センターまでご相談ください。
- ・コロナ終息後は価格も安定していますので作付け面積の増反をお願いします。

果 樹



1 りんご

気温次第で生育が急激に進む場合があるので、園地の状況をよく観察し、生育に合わせて作業を進めましょう。

●りんご(ふじ)の年別の発芽日と展葉日の記録と1回目(ふじの展葉1週間後頃)の薬剤散布実施日

年	発芽日	展葉日	ふじの展葉1週間後頃の散布日
令和5年	3月23日	4月4日	4月11日
令和6年	4月5日	4月14日	4月19日
令和7年	4月4日	4月17日	4月21日
平年(過去20年平均)	4月7日	4月19日	4月26日~28日頃

※発芽日・展葉日⇒りんご研究所県南果樹部(五戸町扇田)の記録

※ふじの展葉1週間後頃の散布日⇒八戸農協管内に所在する共防の散布日の平均

2 ゼネラル・レクラーク

- ・カイガラムシが多発している園地では必ず発芽前からの防除を行いましょう。
- ・輪紋病対策として、伝染源になる枝幹部のいぼ病斑は、胞子の飛散が始まる5月下旬までに削り取って、塗布剤を塗布しましょう。
- 発芽前…ハーベストオイル(50倍) 250ℓ/10a
- 発芽7日後…キノドーフロアブル(1,000倍)、ダイアジノン水和剤(1,000倍) 300ℓ/10a
- 開花直前…スコア顆粒水和剤(2,000倍) 300ℓ/10a

3 桃

- ・せん孔細菌病対策として、春型枝病斑の切除を徹底しましょう。春型枝病斑は4月から見え始め、開花以降も発生が続くので、定期的に園地を見回り見付け次第切除しましょう。
- 発芽前…トレノックスフロアブル(500倍)又は石灰硫黄合剤(7倍) 300ℓ/10a
- 開花前…フェニックスフロアブル(樹幹部に手散布)500倍 200ℓ/10a
- 開花直前…ICボルドー412(30倍) 300ℓ/10a

4 さくらんぼ

- ・毎年結実過多の樹では、催芽前に花束状短果枝の花芽数を3芽程度残して摘芽しましょう。ただし、花芽の少ない樹や樹勢の強い樹には行わないよう気を付けましょう。
- ・ウメシロカイガラムシが多い園地では、発芽前にブラシかけを行ってから薬剤散布しましょう。
- 発芽前…ハーベストオイル(50倍) 350ℓ/10a
- 開花前…フェニックスフロアブル(樹幹部に手散布)500倍 200ℓ/10a
- 開花前日…サンリット水和剤(2,000倍) 450ℓ/10a

5 プラム

- ・発芽前散布は、「ふくろみ病」の最重要防除時期になります。花蕾が開き始めた頃から、降雨により感染します。「ふくろみ病」が発生すると、収穫量の減少に直結するので、遅れないよう丁寧に散布しましょう。(参考：大石早生の発芽日、令和7年…3月25日、令和6年…3月29日)
- 発芽前…トレノックス(500倍) 300ℓ/10a
- 開花前…フェニックスフロアブル(樹幹部に手散布)200倍 200ℓ/10a
- 開花前日…ICボルドー412(30倍) 300ℓ/10a

花 き



盆用の定植の準備がはじまります。ハウスではしっかり散水し早めに施肥をして、地温の確保を心掛けましょう。施肥は土壌診断に基づき、菊類ならa当たり窒素で1~2kg程度施肥してください。ハウスでの多量の施肥は根やけや軟弱徒長など障害がでやすくなるので注意してください。カンパニユラは気温が上がりどんどん成長してくる時期です。品質向上のために適時かん水をお願いいたします。近年アブラムシなどの発生が見られますので、よく観察し予防防除をお願いいたします。



1 水	●年度始め式(営農経済本部) ●入組式(営農経済本部)	16 木	●木曜の市(株ぱるじゃサービス本社)
2 木	●木曜の市(株ぱるじゃサービス本社)	17 金	●金曜の市(株ぱるじゃサービス是川)
3 金	●金曜の市(株ぱるじゃサービス是川)	18 土	●ローン相談会(下長支店)
4 土		19 日	
5 日		20 月	
6 月		21 火	
7 火		22 水	
8 水		23 木	●木曜の市(株ぱるじゃサービス本社)
9 木	●木曜の市(株ぱるじゃサービス本社)	24 金	●金曜の市(株ぱるじゃサービス是川)
10 金	●金曜の市(株ぱるじゃサービス是川)	25 土	
11 土		26 日	
12 日		27 月	
13 月		28 火	
14 火		29 水	●昭和の日
15 水		30 木	●定例理事会(営農経済本部) ●木曜の市(株ぱるじゃサービス本社)

得する・役に立つ・元気が出る「家の光」4月号のご紹介



定価 900円(税込)

ご購入のお申し込みは各支店窓口までどうぞ!!



味つけは黄金比率で簡単! おかずいらずの もりもり炊きこみご飯

炊飯器一つあれば簡単に作れる、具材たっぷり栄養バランスも整った炊きこみご飯のレシピをご紹介します!

農ライフのすすめ 野菜がよく育つ 花の植え合わせ

- 農家が作った風景 - 青森県 弘前市 りんごの花
- ひと目でわかる! 食と農のいま 第8回
- 牛肉 ブラジルが世界の生産量のトップに



定例理事会 (2/27開催)

案件

- 議案第1号 出資金の減口について
- 議案第2号 債権の償却について
- 議案第3号 理事に対する利益相反取引について
- 議案第4号 理事に対する利益相反取引について
- 議案第5号 農産物販売戻金の支払いについて

報告事項

- 第1号 組合員の加入及び脱退等について
- 第2号 監事監査報告書について
- 第3号 内部監査報告書について
- 第4号 青森県への報告(個人データ漏えい)について
- 第5号 登録金融機関業務に関する事故等の報告について
- 第6号 個人情報保護法関連要領等の一部変更について
- 第7号 貸付条件変更について
- 第8号 農業資金融資要項の一部変更について
- 第9号 ローン融資要項の一部変更について
- 第10号 JAネットバンク利用規定の一部改正について
- 第11号 固定資産の処分について
- 第12号 クロスチェックの実施結果不備事項にかかる原因・改善策について
- 第13号 人事異動について
- 第14号 委員会報告について
- 第15号 各部の事業実績並びに業務報告について
- 第16号 常勤役員・参事の主要行事出席と行事予定について

活動レポート Report

女性部

あおり国スポ冬季大会でお振る舞い

女性部は2月5日から8日までの4日間、八戸市のY Sアリーナで選手や観客など約3,000人へ郷土料理「八戸せんべい汁」を振る舞いました。部員は「あたたかいせんべい汁いかがですか」と声をかけ、もてなしました。



せんべい汁を食べた他県の選手は「初めて食べたがおいしかった。せんべいも味が染みてよかった」と話しました。

コミュニティの輪を広げませんか? / JA八戸青壮年部 部員募集

青壮年部の一員になって、自分が住んでいる地域を盛り上げていきませんか?



お問い合わせ

- 八戸営農センター(中央) TEL.0178-70-4051
- 三戸営農センター(三戸) TEL.0179-23-3811
- 八戸営農センター(南部) TEL.0178-83-2781
- 三戸営農センター(田子) TEL.0179-20-7711
- 五戸営農センター(西部) TEL.0178-78-2003
- 営農経済部 指導課 TEL.0178-61-6334
- 五戸営農センター(東部) TEL.0178-68-2212

JAのすがた	
令和8年2月末現在	
組合員数	正 9,420人 准 4,757人 計 14,177人
役員	27人
職員 (準職員含む)	287人
出資金	34.7億円
貯金	959億円
貸出金	346億円
長期共済保有高	3,099億円
購買品供給高	30.5億円 (令和6年度)
販売品販売高	94.2億円 (令和6年度)

農業経験のない方 大歓迎!

JA八戸女性部 部員募集

管内在住の女性であればどなたでも加入できますので、仲間づくりや趣味探しと一緒に活動してみませんか?



お問い合わせ

総務部 総務課(女性部事務局) TEL.0178-70-7711 FAX.0178-70-7716

農業経営基盤強化準備金制度の改正内容のお知らせ

令和8年4月1日以降、新たに準備金を活用して農用地を取得する場合、以下の要件を満たす必要があります。

- 積立て時** 地域計画の区域内で準備金活用者が将来取得予定である農用地が対象となります。
※上記以外の場合、積立てはできなくなります。
- 農用地の取得時** 地域計画に準備金活用者が利用するものとして定められている農用地(地番等で特定した農用地)が対象となります。
※地域計画で確認できない場合は対象外となります。

●申請時に必要な新たな確認事項及び添付資料(検討中)

【積立て時】

□別記様式第5号において、地域計画の区域内における準備金活用者の農用地取得予定を確認

市町村名(地域名又は地区名)の記載欄を追加

【農用地の取得時】

地番等を通じて、準備金活用者の取得する農用地が目標地図に記載されていることについて確認できる添付資料

- 取得する農用地が掲載されている地域計画の目標地図(必須)
- 取得する農用地を特定する資料
 - ・農地法第3条に基づく許可指令書等所有権を移転する農用地の地番が分かる資料
 - ・eMAFF農地ナビ等で取得する農用地の地番が分かる資料

目標地図とeMAFF地図を突合することで確認



お問い合わせ先 東北農政局青森県拠点 地方参事官室
TEL:017-775-2151

農業経営基盤強化準備金制度についてはこちら▶



頭の体操

クロスワード



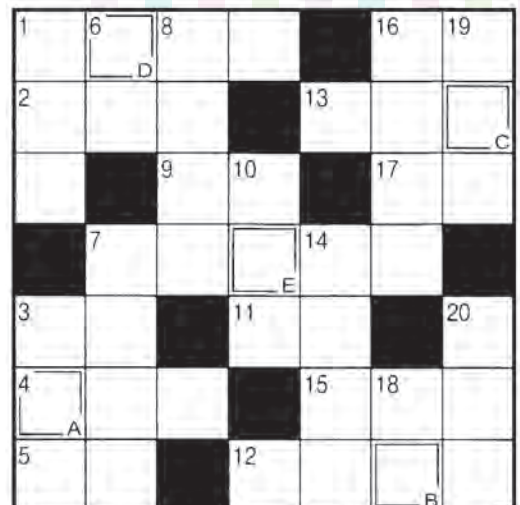
クロスワードを解いて、A→Eの二重ワクの文字を順に並べてできた言葉が答えです。

↓ タテのカギ

- 潮干狩りでよくとれる二枚貝
- ガソリンは——性の高い液体です
- 海に浮かべて目印にします
- ゴロゴロゴロ…ピカッ!
- 工事が終わり建物が完成すること
- 相撲を取る人のこと
- 連載ではありません
- 伊勢神宮は——と外宮に分かれています
- 白神山を象徴する木
- トランプのJ、Q、Kのこと
- 唱歌「春の小川」に出てくる花

→ ヨコのカギ

- ナノハナと呼ばれることもあります
- は流流仕上げを御覧じろ
- 若いメンドリが生んだものには二つ入っていることも
- 桜が咲く時期ならではのレジャー
- 竿や糸、針を使って楽しめます
- 津軽、関門、ドーバーといえば
- セロリやミツバは——科の野菜です
- うわ、服にコーヒの——がついちやった
- 北口櫻花選手の専門種目
- お金を入れます。春に買うと「お金で張る」から縁起がいいそうです
- 転換しようとして散歩に出た
- 田植えに向けて育てます
- 酔っぱらって巻く人もいます



(出題) ニコリ

編集後記

だんだんと花粉症がつかくなる季節となりました。昼前後と夕方の時間帯に飛散が多いそうです。外出の時間をずらすなどの対策を行い、花粉症と向き合っていくしかないですね。㊦

職員のごき

【異動】

(令和8年2月1日付)
総務部付▷購買課
浦崎 美香

【退職】

(令和8年1月31日付)
▷田中 文明(八戸営農経済センター)

▶ 階上町道伝(Aさん)

今が旬のいちご「さちのか」を、家族みんなでおいしくいただきました。粒が大きくて、甘くて絶品です。

▶ 八戸市是川(Aさん)

3月に入ると、わが家でも、そろそろ家庭菜園の準備をしようかと重い腰をあげる時期です。これからまた、農協さんのお世話になります。

▶ 新郷村戸来(Sさん)

2月13日に種まきをした、ピーマンの芽が一斉に出了ました。かわいいですね。今年も頑張っ、沢山の実をつけてほしいです。

皆様の声

皆様からいただいた
ご意見・ご感想を
ご紹介いたします



農家組合員以外の方でも是非ご相談ください!!

ローン相談会

平日はお忙しいお客様と土曜日にご相談させていただきます。ご予約のない方もお気軽にご来場くださいませ。

開催日

令和8年 **4月18日** 土

時間

午前9時～正午

■ローン相談会のお問い合わせはお気軽はこちらまで
〈下長支店〉住所：八戸市大字河原木字河原木後10
TEL：0178-20-1391

「JAとのお取引はこれから」

というお客様もお気軽にどうぞ!!

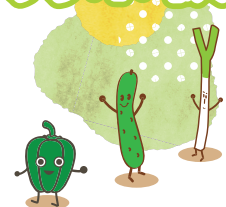


会場ご案内図



check

情報
掲示板



2月号の当選者

おめでとう
ございます

賞品の発送をもって当選発表とさせていただきます。

2月号のクロスワードの答え



A B C D E
「チラシズシ」

クロスワードの答えの応募方法

ハガキに「クロスワードの答え」と「JAや本誌に対するご意見・ご感想」をご記入の上、どしどしご応募ください。

正解者の中から抽選でグリーンセンター・JA農産物直売所・(株)ばるじゃサービス各給油所・Aコープ店で利用できる商品券1,000円分を5名様に差し上げます。



郵便はがき
85 039-1101
青森県八戸市大字
尻内町字内矢沢2番地5
JA八戸
総務課行

● 氏名
● 住所
● 郵便番号
● 電話番号
● 電話番号
● 本誌へのご意見・ご感想
● 何でもOKです。

しめ切り

4月15日の
消印まで有効

※ご応募いただいた皆様の個人情報情報は、「皆様の声」コーナーでのご紹介及び、クイズ当選者への賞品発送にのみ、使用させていただきます。

※ご意見・ご感想が記載されていないハガキは抽選の対象から省かせていただきますので、ご了承ください。

組合員資格についてご確認をお願いいたします

当組合定款第14号により、**組合員資格等に変更があった場合は、その旨を届け出ていただくこと**になっております。

つきましては、下記の内容に変更があった場合は、各支店に申し出てくださいようお願いいたします。

お変わりありませんか？ 氏名 住所 電話番号 ご本人様の死亡

組合員の資格要件は次のとおりとなっておりますので、今一度ご確認をお願いいたします。

正組合員資格

- 1. 10アール以上の土地を耕作する農業を営む個人であって、その住所又はその経営に係る土地若しくは施設がこの組合の地区内にあるもの
- 2. 1年のうち90日以上農業に従事する個人であって、その住所又はその従事する農業に係る土地又は施設がこの組合の地区内にあるもの
- 3. 農業を営む法人(その常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く。)であって、その事務所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

准組合員資格(一部抜粋)

- 1. この組合の地区内に住所を有する個人で、この組合の事業を利用することが適当と認められるもの
- 2. 八戸農業協同組合の(・資金の借り入れ・貯金または定期積金・事業または生活に必要な物資の供給・共済事業)のいずれかの事業を1年以上継続して利用しており、かつこの組合の地区内に勤務地を有する個人であること
- 3. この組合から第7条第1項第4号、第10号又は第22号の事業に係る物資の供給又は役務の提供を1年以上継続して受けているこの組合の地区外に住所を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの

ご不明な点等ございましたら、各支店へ問合せください。

営農座談会 各地区で開催

営農経済部では、1月から3月にかけて各地区において営農座談会を行っております。営農センターの職員が令和7年の気象経過をもとに生育経過を報告したほか、農産物の販売状況について説明しました。なかでもながいもについては、A品ロットの拡大と選別作業時間短縮を目的に、規格変更を行っていることや、土壌診断の重要性、近年問題になっているピーマンなどの野菜や果樹のカメムシ対策を報告しました。さらに、各地区の営農座談会へ常勤役員も出席し、参加者より意見や要望の聞き取りを行いました。

